

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			月1回業務改善会議を実施している。従業員間へ共有がうまく出来ない事があるため、引き継ぎを的確に行い、従業員間の引き継ぎがしっかりできるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者向けに年度末に要望アンケートを実施している。実施できる内容は実施している。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			研修には積極的に参加している。研修後は研修報告を作成して研修内容を療育に生かせるように努めている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			モニタリング、評価作成の後、保護者との面談を実施している。面談にて自宅での様子、学校での様子の聞き取りや、当事業所での様子を伝えている。作成したモニタリングをもとに、お子様の課題を伝え、課題達成のための支援計画や、ニーズに合った支援計画の作成と、療育を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		小集団の中で、ルールのあるゲームを行ったり、子供同士でルールを決めてゲームを行うなど子ども同士の関わりを大切にしている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		活動プログラムはどんな内容で行ったか、職員間で翌日の朝礼で引き継ぎを行い、お子様の様子の情報共有を行っている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4			

関係機関や保護者との連携	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎日、朝礼と夕礼を行っている。朝礼では前日のお子様の様子の共有と、当日の流れの確認、連絡事項を行っている。夕礼は療育中の様子の共有と活動プログラムの報告等を実施している。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4			
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2		1	医療的ケアの必要なお子様の受け入れは行っていない。 障害福祉課とはやりとりしている。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1		2	今まで医療的ケアの必要なお子様の受け入れは行っていない。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2	コロナ禍でもあり、今後も活動を行う機会設定は考えていない。
	28	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1		会議に召集されていない。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			お子様の来所時、お迎え時にその日のお子様の様子を保護者に伝えている。
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4				

保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3			
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			すくすく通信の発行を年4回発行している
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	1		
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			すくすくキッズ月1回家族会は月1回午前中に実施している。またライト・イット・アップ・ブルー東村山等の地域の開かれた行事の開催を実施している
非常時の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			年に2回、避難訓練を実施しており、保護者による引き取り訓練も併行して実施している。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3			事前に服薬や予防接種、てんかん発作など子供の状況を確認している。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		食事提供は保護者の持参した弁当対応、除去済みのものである。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハット事例について、報告書の作成を行い、職員間で朝礼、夕礼に情報共有を行っている。ヒヤリハット事例について検討が必要な環境整備については、改善が必要な箇所の整備を迅速に整えるように努めている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			